

「国公私を通じた大学教育改革支援プログラム」選定の状況

国公立大学を通じた大学教育改革は、各大学などにおける大学改革の取組が一層推進されるよう、GP(大学教育の充実—Good Practice—)事業などにより、国公立大学を通じた競争的環境の下で、特色・個性ある優れた取組を文部科学省が選定・支援するプログラムです。

岡山学院大学

「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム H21 年度～H23 年度

小規模大学の特色を生かした就職支援体制の構築

この事業は、学生の就業意識の向上並びに卒業生の早期離職防止を図り、本学の学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づく学習成果を獲得した学生が、目標である専門領域で長く就業できる支援体制を構築し、就職対策室の開設、文章や口述による表現力を鍛える、就職マナー講座、現場情報の紹介などを通して学生の専門職就業意識を高める支援を行うとともに、卒業生に対し進歩する専門領域の情報提供による現場での実践力強化、学内SNSを活用し就業上の悩みを聞くなど、学生・卒業生双方の就職・定着支援を行うことを目的として実施したものです。

「私立大学教育研究活性化設備整備事業」【区分 C】 H24 年度

地域高齢者と大学の連携による現場に即応する管理栄養士の育成

趣旨・目的

- 1 本学は、建学の精神である教育三綱領「自律創生・信念貫徹・共存共栄」に基づく教育目的・目標と、三つの方針に基づく教育方針の徹底を図り、学長をリーダーとして教職員・学生が丸となった教育機関への変身を目指しています。
- 2 本学で学ぶ学生の学習成果は、卒業時に、「現場に即応する管理栄養士」となると社会に表明しています。
- 3 そのため本学では過去 5 年間にわたり岡山県下で最大の会員を抱える倉敷市老人クラブ連合会と連携して、学内での栄養指導と健康に配慮した食事の提供を学生主導で運営する「栄養長寿教室」を継続して実施しています。
- 4 このような健康な高齢者との交流経験を高学年の学生を中心として積ませることにより対人指導能力の向上が図れるものと期待しています。
- 5 「栄養長寿教室」については、倉敷市老人クラブ連合会から実施回数の増加や参加人員の増加、訪問栄養指導の実施などが求められており、好評に推移している事業です。
- 6 今回の申請は、この「栄養長寿教室」の継続・発展を主目的とするものです。
- 7 本事業の成果は、本学の管理栄養士教育の充実、教育の多様の展開によって、社会への情報発信力の増強につながると期待されます。

岡山短期大学

特色ある大学教育支援プログラム H17 年度～H18 年度

「人間関係力」養成支援プログラム

この取組は、幼児教育学科における学生の学習成果の一つであるコミュニケーション能力の修得を促進及び測定する教育課程として編成したものです。プログラムは幼児の身体的・造形的・音楽的表現活動の一環である「オペレッタ」の制作のプロセスを、学生個々の作品制作からグループ代表作品及び最優秀作品までの選定・制作・発表までを2年間のPLAN DO SEE の評価サイクルに組み込み、学生と教員の協働で「自己表現」「他者理解」「問題解決」を繰り返す対話(Dialogue)により「人間関係力」を培いました。教育効果は、期間ごと、入学・卒業時の自己評価及び最優秀作品発表時での外部評価に顕著に現れ、教育目標とする実践的指導力を身に付ける学生のニーズに応えたものでした。プログラム終了後も、プログラムの実績のもと専門教育に反映されております。

質の高い教員養成支援プログラム H18 年度～H19 年度

大学コンソーシアムによる幼稚園教員の養成

この取組は、少子化が進む時代と教育現場・地域のニーズに対応できる専門的力量と実践力を備えた幼稚園教員の養成を目的としたものです。そのために、岡山県内保育者養成大学9校による大学コンソーシアム(地域大学間連携機構)を組み、各大学教員の協働による「教員養成カリキュラムの充実」、学生に向けた「学生間交流による主体的成長の促進」、及び地域・家庭に向けた「地域に密着した子育て支援推進と拠点化」に取り組みました。プログラム終了後は、地域の幼稚園が主催する協議会に参画し、知の拠点として活動しています。

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム H19 年度～H20 年度

人命尊重マインド養成支援プログラム

この取組は、学生が人命尊重の精神を備えた人間に成長するよう支援する取組で、人命を脅かす事件・事故が頻発する現代社会からの要請に応えるものであると同時に、自尊感情の希薄な学生が自信をもって社会に出立する手助けをするものでありました。2年間で以下の第一から第四までを重層的に活動しました。

第一は、交通安全と救命救急の研修活動として、学生は、体験型学習を通して、社会人・保育者として求められる、人命を守るための知識と技能を習得しました。

第二は、命をテーマとする講演・シンポジウム開催の活動として、学生は、専門家からの多様なメッセージによって学びを深めました。

第三は、「命の資料室」を拠点にした活動として、学生が学び活動していく恒常的施設を設置しました。

第四は、人命尊重の啓発活動として、学生は、学びの成果を紙芝居やオペレッタ等の形にし、幼児に向け発信しました。

プログラム終了後は、救命救急、命の資料室の活動を中心に実施しています。

「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム H21 年度～H22 年度

保育専門職への就職・定着支援プログラム

この取組は、在学生の保育現場への就職意欲の増進と就職活動支援の増強を図り、卒業生の職場定着のための支援を行いました。

第一に、在学生の就職活動支援として、保育職に従事する卒業生による講演・懇話会によって積極的な就職活動への意欲を高める、保育現場を知り人事担当者が求める履歴書を作成する、社会人基礎マナーを身につける、文章や口述による表現力を鍛える、など実践的なプログラムを実施しました。

第二に、卒業生の職場定着支援として、学内ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を構築・活用して教員との交流による精神的サポートを行う、初年次に教員が就職先に訪問して人事担当者と就業状況に関する意見交換をする、保育現場で使う表現遊びや手作り玩具などの最新の情報を視聴覚媒体にして配付する、などの継続的なプログラムを実施しました。

プログラム終了後は、在学生の就職活動支援を中心に実施し、卒業生の職場定着支援のうちで、初年次に教員が就職先に訪問して人事担当者と就業状況に関する意見交換をすることを実施しています。

「私立大学教育研究活性化設備整備事業」【区分 A】 H24 年度

模擬保育室・保育相談実践室を利用した保育実感力養成プログラム

本学の学生は現場に即応する保育者(幼稚園教諭・保育士)になるため、学科の教育課程(一般教育科目および専門教育科目)の学習をとおして具体的には次のような学習成果(専門的学習成果および汎用的学習成果)を獲得します。専門的学習成果は①信頼される教育環境が作れる ②主体的な活動、幼児期にふさわしい生活の展開を促進できる ③調和のとれた心身を発達させるための遊びを指導できる ④一人ひとりの特性と発達の課題に即する指導ができる ⑤身の回りの世話ができ、基本的な生活習慣を身に付けるよう支援できる ⑥集団生活で社会性を養える ⑦心身の穏やかな発達を、遊びを通じて支援できる ⑧保護者への報告、子育てに対する相談、支援ができる ⑨地域と連携が図れる、ことです。汎用的学習成果は①社会人として求められる態度、信念、意見、価値すなわち社会人としての責任を果たすために必要な倫理観や価値観、自己管理の能力 ②コミュニケーション能力すなわち職業生活や社会生活に必要な情報リテラシーや数量的スキル、人との関わりに必要な論理的思考能力、自己表現、他者理解、問題解決の能力を備えている、ことです。この事業は特に専門的学習成果①～⑨の全てに密接に関連し、「保育実感力」すなわち実際に具体的なイメージを思い浮かべながら保育空間を構成し、心身の調和のとれた発達のために適切な保育室を設えることができる力の養成は、それらを達成するためにぜひ必要なものです。本学は過去の GP などにおいても「人間関係力」養成支援プログラム(平成 17 年度～18 年度 特色ある大学教育支援プログラム)、「人命尊重マインド」養成支援プログラム(平成 19 年度～20 年度 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム)による取組で保育者に必要な能力を修得できる仕組を構築してきました。この度の事業の趣旨・目的としては、それらの仕組によって得られる学習成果に加えてさらに保育実践力の要素を体得させるため、講義・演習・実技・実習科目における教育研究内容をより一層充実させることを目的として、既存の施設を活用した模擬保育室・保育相談実践室を設定し、保育実践力のひとつであり、保育者の資質として必須のものである保育実感力の養成を目論むプログラムです。